

さいわい 虹 便り

No. 87

発行者 深井純子 吉田唯之 齊藤淳子 小島ゆかり



絵をカッターで切り抜いていき、裏から色紙等を貼ることで出来上がります。多様な工夫がされているのは色付け作業です。筆で絵具を塗り、ブラシでこすって色合いをだしたり、チョークを粉にして塗ったり、金粉を利用してオリジナリティーを出すための工夫をされています。

元々、手先の細かい作業が好きな三田様。初めて切り絵を見て『綺麗!』と思いい、『自分でも作ってみたい!』と始められました。美しい作品が出来上がるまでには、様々な工夫があります。

かしまだ地域包括支援センターのご利用者・三田様の『切り絵』をご紹介します。

作品介绍

自分で絵のデザインを行うこともあり、市民館に展示されるほどの腕前です。「切り絵を通して、お友達もできましたし、脳トレにもなるの」と楽しまれています。



三田様よりお借りしている、こちらの美しく、かわいらしい作品は、事務所の面談室に飾らせていただいております。職員はもちろんのこと、ご相談に来られた方の癒しになっていきます。初めて来られて緊張した面持ちの方の気持ちを和らげてくれています。



さいわい虹便りは、ホームページでもご覧いただけます。
(バックナンバーも公開中です。)

さいわい虹だより


<https://sekishinkai-zaitaku.jp>

QRコードからも
アクセスできます



防災

福祉用具レンタルさいわいと災害対策

近年、大きな地震や台風といった災害に見舞われることが多くなってきました。

災害が起こると必ずと言ってよいほど「停電」が起こります。福祉用具には電源を必要とする機器がたくさんあります。いざというときに使えなくなると、大けがをしたりの状態が悪化してしまう恐れがあります。

福祉用具レンタルさいわいでは、福祉用具を利用して頂いている方々に対して、「自分で自分の身を守る」という視点から、災害時の事前準備に関する対策を検討しています。



災害時の事前準備

今回は、福祉用具の、災害時の停電に対する事前準備について一例をご紹介します。

【特殊寝台（介護用ベッド）】

・頭と足を完全に下げて水平の状態にし、高さは一番低い位置にしましょう。
調整が終わったら、電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

【エアマット（床ずれ予防）】

・停電対策が施されているエアマットを利用しましょう。
（約2週間は空気が抜けないようになっています）

・事前に、電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
・停電対策のないエアマットは、ホースを2回折ってテープで固定し、空気が抜けないようにしましょう。

【リフト関連機器（電源式）】

・停電対策として、手動により緊急昇降操作ができるようになっています。取り扱い説明書を読み、操作方法を確認しましょう。
・充電式については動かすことが出来ませんが、使用方法を確認しておきましょう。



一般的な停電時の事前準備をご紹介いたしました。が、福祉用具の機種によって、対応方法がいろいろと異なります。

一度お使いになっている福祉用具の停電対応について、確認してみてください。

【福祉用具の停電対応確認方法】

- ◎ レンタル、または購入された店舗の相談員に問い合わせる。
- ◎ 使用されている福祉用具のメーカーに問い合わせる。
- ◎ 使用中の福祉用具の取り扱い説明書を見直す。

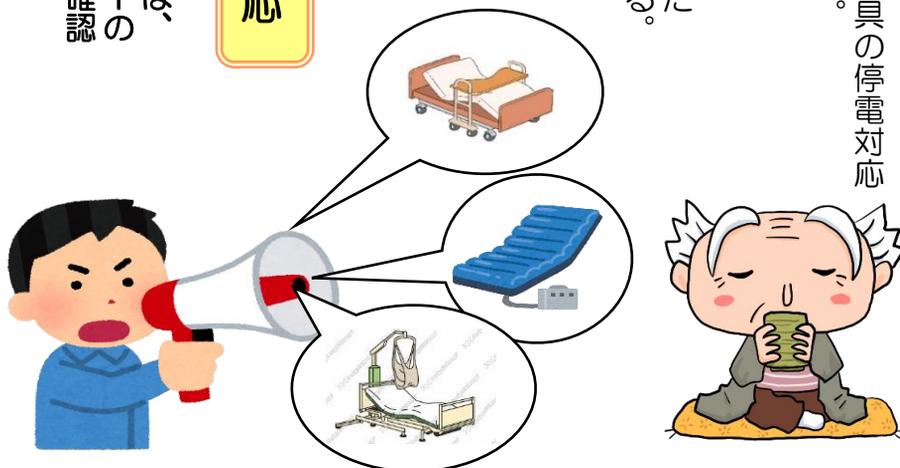
福祉用具の停電時の対応

一般社団法人「JASSPA」では、登録されている福祉用具メーカーの停電時の対応について、一覧で確認することができます。

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具供給協会
「停電時に対する備え」



QRコードからもアクセスできます



停電に対する事前準備

停電時に緊急的に電源供給が必要になった場合に、非常電源を事前に準備しておく目安です。

【蓄電池】

- ・ 小型なバッテリー式の電池です。
- ・ AC電源が使用できる物があります。

【発電機】

- ・ カセットボンベを使用するタイプやガソリンを使用するタイプ等々があります。

【自動車】

- ・ 電気自動車やハイブリッド自動車には、AC電源供給が出来る車があります。
- ※ 経済産業省
「災害時における電動車の活用マニュアル」

早めの行動

何はともあれ、災害においては事前の準備が重要です。

「備えあれば憂いなし」の気持ちをおさめ、早めに「停電」の準備をしておきましょう。



QRコードからもアクセスできます



新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの比較

	新型コロナウイルス	インフルエンザ
目立った症状の特徴	発熱に加え、味覚・嗅覚障害を伴うことがある	しばしば高熱がある
潜伏期間	1～14日	1～2日
無症状者からの感染	数%から60%の報告あり 感染力が強い	10%程度 無症状者のウイルス排出量は少ない
致死率	3～4%	0.1%以下
ワクチン	現時点では有効なワクチンはない	ワクチンあり

インフルエンザが流行する季節となりました。医療現場では、症状が似ている新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの「同時流行」に対する警戒感が高まっています。

「新型コロナウイルス」と「インフルエンザ」 同時流行に備えて



日本感染症学会資料を基に作成

ウイルス拡大予防策

日常生活の中で「新しい生活様式」を心がけることで、新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症の拡大を防ぐことができ、ご自身のみならず、大切な家族・友人・隣人の命を守ることにつながるものと考えます。

① 咳エチケット マスクの着用



② 手洗い・アルコール消毒をこまめに行う

③ 3密を避ける（密集・密接・密閉）



④ 睡眠・食事をしっかりととり体調を整える

※インフルエンザワクチンを接種しておくことも大切です。



編集後記

今年、コロナが始まりいつもと異なる生活様式に戸惑いましたね。一日も早いコロナ収束を願って

来年は良い年になりますように！

編集者 森田貴 本間有由実 新庄裕子 宮本祥代

